

ホルター心電図解析ソフト 一式
(搬入、据付、配線、調整を含む)

仕 様 書

令和8年6月

滋賀医科大学

会計課契約係
TEL:077-548-2036

I. 仕様書概要説明

1. 調達背景及び目的

現在の Holter 心電図解析システムでは、長時間心電図記録の解析を通じて、不整脈、虚血性変化、自律神経機能評価等の検出・評価を行っており、地域住民を対象とした大規模疫学研究である滋賀動脈硬化疫学研究 (SESSA) の基盤的検査機器として活用されている。また、本学が参画する地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS) においても、循環器疾患に関する臨床・疫学データの蓄積および研究基盤強化が求められており、高精度かつ安定した心電図解析環境の維持が不可欠である。

しかしながら、現在使用している解析装置および関連機器は導入後長期間が経過しており、機器の老朽化による性能低下や故障リスクの増加が懸念されている。また、保守対応の終了から安定した研究運用や迅速な障害対応が困難な状況となっている。

近年の疫学研究では、従来の単純な不整脈検出に加え、心拍変動解析や長期間データの高精度解析など、より高度な解析機能が求められている。本調達により、新たな Holter 心電図解析システムを導入することで、解析精度および運用安定性の向上を図り、SESSA および J-PEAKS における継続的かつ信頼性の高い研究基盤を整備することを目的とする。

2. 調達物品名及び構成内訳

ホルター心電図解析ソフト 一式 (搬入、据付、配線、調整を含む)
(構成内訳)

1. ホルター心電図解析ソフト 1台
2. ホルター心電図解析ソフト用 PC 1台

3. 技術的要件の概要

- 1) 本調達物品に係る性能、機能及び技術等 (以下「性能等」という。) の要求要件 (以下「技術的要件」という。) は、II. 調達物品に備えるべき技術的要件に示すとおりである。
- 2) 技術的要件は、すべて必須の要求要件である。
- 3) 必須の要求要件は、本学が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- 4) 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、本学技術審査職員において入札機器に係る技術仕様書を含む入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

4. その他

1) 仕様に関する留意事項

- ① 提案する機器は、原則として入札時点で製品化されていること。入札時点で製品化されてい

ない機器によって応札する場合は、技術的要件を満たすことの証明、および納入期限までに製品化され、納入できることを保証する資料及び確約書等を提出すること。

2) 提案に関する留意事項

- ① 提案に関しては、提案機器が本仕様書の要求要件をどのように満たすか、またはどのように実現するかを、要求要件毎に具体的かつわかりやすく記載し、必要に応じて資料を添付すること。従って、審査するに当たって提案の根拠が不明確、説明が不十分であると技術審査職員が判断した場合は、要求要件を満たしていないものとみなす。
- ② 提出資料等に関する照会先を明記すること。
- ③ 提案された内容等について、問い合わせまたはヒアリングを行う場合があるので、誠実に対応すること。
- ④ 提案する機器が仕様を満たしていることを、提出書類のどの部分で証明できるか、参照すべき箇所を明記すること。参照すべき箇所がカタログ、図面、仕様書等である場合には、アンダーラインを付したり、余白に大きく矢印を付したりすることによって当該部分をわかりやすく明示すること。

3) 導入に関する留意事項

- ① 導入スケジュールについては、本学と協議の上、その指示に従うこと。
- ② 搬入、据付、配線、調整に要するすべての費用は、本調達に含む。

II. 調達物品に備えるべき技術的要件

(性能、機能に関する要件)

1. ホルター心電図解析ソフト 一式

- 1-1 1ch、2ch、3ch、12ch の心電図波形データが再生できること。
- 1-2 14 日間以上の心電図波形データが再生できること。
- 1-3 表示画面をキャプチャして画像データとして保存できること。
- 1-4 解析、印刷、保存、送信、出力を並行して行えるマルチタスク機能を有すること。
- 1-5 解析時に心房細動や VT (持続性・非持続性)、SVT の不整脈イベントを自動検出できること。
- 1-6 心拍情報や不整脈情報を含む自動解析結果を一画面で表示できること。
- 1-7 モフォロジーの代表波形ごとに R 波検出位置の変更ができること。
- 1-8 編集の効率化のため、RR レシオを用いて心拍の分類ができること。
- 1-9 モフォロジー群内から代表波形を選択して変更できること。
- 1-10 レポートは縦書きと横書きで選択可能なこと。
- 1-11 個人情報保護の観点から、必要に応じてデータの被検者情報を匿名化して保存できること。
- 1-12 血圧計測機能を有すること。また計測結果一覧やトレンドを一枚にまとめてレポート出力できること。
- 1-13 ペースメーカー計測機能を有すること。
- 1-14 SAS (睡眠時無呼吸低呼吸症候群) 計測機能を有すること。
- 1-15 CVHR (Cyclic Variation of Heart Rate) 計測機能を有すること。
- 1-16 HRV (Heart Rate Variability) 計測機能を有すること。
- 1-17 QT (QT 間隔・QT ディスパーション) 計測機能を有すること。
- 1-18 血圧計測機能を有すること。また計測結果一覧やトレンドを一枚にまとめてレポート出力できること。
- 1-19 ホルター心電図解析ソフト用 PC の OS は Windows11 Pro/64bit (日本語版/バージョン 21H2 以上) とする。CPU は Core i7 以上かつメモリは 16GB 以上とする。ハードディスク空き容量は 30GB 以上とする。ディスプレイ解像度は 1,920×1,080 以上であり、21.5 型のディスプレイとする。また Microsoft Office は付属させない仕様とすること。

(性能、機能以外に関する要件)

2. 設置条件等

- 2-1 NCD 疫学センターに搬入し、据付、配線、調整を行うこと。
- 2-2 本学が用意した一次側電源設備 (AC100V、6A) 以外に必要な設備があれば、供給者において用意すること。なお、これに要する費用は、本調達に含まれる。

3. 保守体制等

- 3-1 本装置の修理、部品供給、その他アフターサービスおよびメンテナンスについて、速やかに対応できる体制を有すること。

3-2 導入後1年以内に通常の使用により故障が生じた場合は、無償で修理又は交換を行うこと。

4. その他

4-1 日本語の使用説明書を3部提供すること。

4-2 利用者に対して、本装置の使用方法及び日常保守等についての教育訓練を、本学が指定する日時および場所において実施すること。